

## 2019年度 第17回花王健康科学研究助成 受賞者11名が決定

厳正な審査の結果、2019年度の研究助成受賞テーマとして、下記のとおり決定いたしました。なお、1年後に研究成果報告会の開催を予定しております。

氏名(所属)	研究テーマ名
<b>エネルギー代謝、循環機能、運動生理、睡眠などに関する研究</b>	
本多 賢彦 (近畿大学 医学部)	代謝制御ネットワークを司るマイオカイン分泌機構の解析
三枝 理博 (金沢大学 医薬保健研究域医学系)	中枢体内時計による睡眠調節の神経メカニズム
伊藤 綾香 (名古屋大学 環境医学研究所)	慢性炎症性疾患における脂質代謝の意義の解明
朴 寅成 (筑波大学 国際統合睡眠医学科学研究機構)	睡眠時エネルギー代謝の調節とその男女差
<b>栄養、運動などに関する実践活動研究</b>	
阿部 百合子 (日本大学 医学部)	小児の内臓脂肪に着目した科学的根拠のある食事療法の開発
小仲 邦 (大阪行岡医療大学 医療学部)	高齢者の健康維持に有効なりハビリテーション法の探索
三戸 麻子 (国立成育医療研究センター 周産期・母性診療センター)	現代の妊娠希望女性の栄養・身体状況の実態とプレコンセプションカウンセリング後の行動変容に関する研究
<b>特定研究テーマ 1. 脳・神経機能と生活行動に関する研究</b>	
佐々木 努 (京都大学大学院 農学研究科)	単純糖質への欲求を制御する脳内回路の解明
青山 晃治 (帝京大学 医学部)	認知機能と血糖値を制御する蛋白質に関する研究
丸谷 康平 (埼玉医科大学 保健医療学部)	前頭前野の脳活動とアパシーおよび高次生活活動との関連 ～地域在住高齢者を対象とした横断研究～
<b>特定研究テーマ 2. 感染防御に関する研究</b>	
津川 仁 (慶應義塾大学 医学部)	腸管フロントラインバリア強化を果たす分子機構の解明

### 〈研究助成について〉

花王健康科学研究会は、少子高齢化社会における、萌芽的な健康価値の創造およびそのしくみの構築に関した研究に助成を行っています。過去の研究助成テーマは、<https://www.kao.com/jp/healthscience/>からご覧いただけます。